

社会運動家・賀川豊彦

献身の生涯漫画に

神戸の実行委

神戸

神戸市生ま
れの社会運動

家、賀川豊彦(1888〜)

1960年)の生涯を漫画で描いた本が、家の光協会(東京)から出版された。賀川が神戸で貧しい人たちの救済事業を始めたと時の様子や、労働運動にかかわった状況など、資料に基づいて分かりやすく描かれている。

「劇画 死線を越えて」賀川豊彦がめざした愛と協同の社会」。賀川が神戸・葺合で救済事業を始めて今年で100年を迎えるのに合わせ、記念事業を展開している「賀川豊彦献身100年記念事業神戸プロジェクト実行委」(事務局・神戸市中央区)が企画監修した。

自伝的小説「死線を越えて」や賀川が立ち上げた「救霊団」(現在の社会福祉法人・学校法人イエス団)の会報などの資料を基にした。「マンガ 蟹工船」の作者で、漫画家・イラストレーターの藤生ゴオさんが作画を担当。救済事業や労働運動など6章に分け、神戸で生協を設立したときのエピソードや、関東大震災の救援、平和運動などを紹介。妻ハルをはじめ、賀川の活動を支えた人々も登場する。

同実行委事務局顧問の西義人さん(66)は「賀川の広範な活動を分かりや



賀川豊彦の生涯が描かれた漫画本